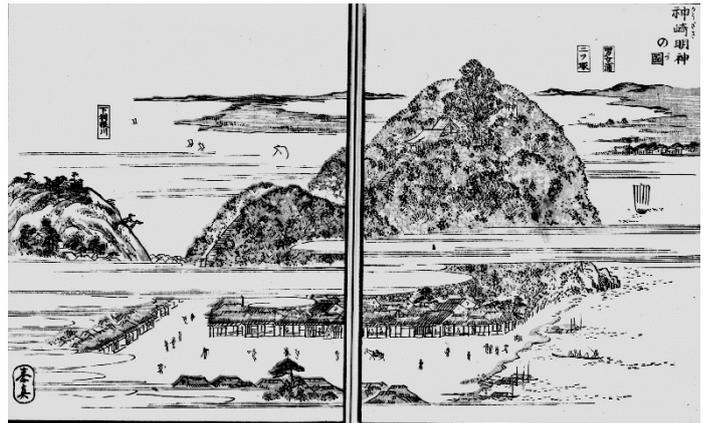


知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより
2018年11月



第63号



『利根川図志 5』赤松宗旦義知著「神崎明神の図」
（「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ）

▼はつらつライフ講座

「知っておきたい 相続・遺言」

講師:黒羽 健司 氏

(千葉県金融広報アドバイザー)

日時:11月10日(土)13:30~15:00

定員:40名(定員になり次第締切)

申込方法:来館、電話、FAX、

Eメールにて

▼歴史講座

「広辞苑の父 新村出(しんむらいずる)博士の生涯

-佐原で学んだ少年時代から辞書編纂に携わるまで-

講師:新村 恭 氏

日時:1月12日(土)13:30~15:30

定員:80名(定員になり次第締切)

申込方法:来館、電話、FAX、Eメールにて

申込み開始日は決定次第ホームページでお知らせします。

▼Twitter(ツイッター)の稼働について

県立図書館3館に共通の Twitter アカウントを開設いたしました。本アカウントでは、本の紹介やイベント告知、図書館トリビアなどを投稿します。Twitter を通して、県立図書館の情報を発信しますので、これまで以上に多くの方が図書館に親しみを持っていただけたら、幸いです。

アカウント名:@chibaken_lib

▼年末年始休館のお知らせ

12月29日(土)から1月4日(金)まで、休館します。なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側のブックポストをご利用ください。

各講座のお問合せ:千葉県立東部図書館

〒289-2521 旭市八の349

TEL:0479-62-7070

FAX:0479-62-7466

メール:elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp

ホームページ URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイト URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→



↑PC・スマホ等の方はこちらへ

「映画と共に歩んだわが半生記」

淀川長治著

近代映画社 2008 [77804/173]

1998年の映画界は「タイタニック」の大ヒットで幕を開け、9月には黒澤明監督が、11月には映画評論家の淀川長治氏が亡くなりました。

この本は、日曜洋画劇場解説者の淀川長治氏が1969年から5年間、映画雑誌『SCREEN』に掲載した記事をまとめたものです。明治42年、淀川氏が生まれる前日、両親は活動大写真を見ていたそうです。映画好きな両親、祖母、姉に囲まれて育った少年が「サヨナラ・サヨナラ・サヨナラ」の有名解説者になるまでの半生を、日本映画業界の歴史を追いながら読んでみてはいかがでしょうか。

図書館ぶらり散歩 (45)



19



東部図書館が開館した1998年に関する本を紹介します。

「明石海峡大橋 夢は海峡を渡る」

島田喜十郎著

鹿島出版会 1998 [51557/1]

1998年に開通した世界最長の吊橋、明石海峡大橋誕生までの苦労や歴史がまとめられた本です。

筆者は神戸市の職員として、また本州四国連絡橋公団へ出向して初期段階の設計や現場調査業務に直接関わっており、臨場感あふれるエピソードが満載されています。

明石海峡大橋だけではなく、日本や世界の様々な橋の構造についても、写真や図を用いて詳しく解説されており、橋全般に興味がある人にもおすすめです。

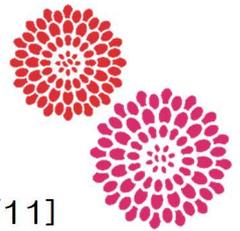
なお、架橋20周年を迎え、完成後のエピソードを盛り込んだ新版も2018年9月に発行されています。



「歴史を変えた毒」

山崎幹夫著

角川書店 2000 [49159/11]



1998年の「今年の漢字」*は「毒」でした。この年は、和歌山でカレーに毒物が混入される事件が起こったり、ダイオキシンや環境ホルモンなどが社会問題になったりした年です。

この本では、世界の歴史の中に登場する様々な「毒」が紹介されています。クレオパトラが自殺の際に用いたヘビ毒、歴代ローマ皇帝を狂わせた鉛毒、第一次世界大戦で兵器となった毒ガス…。古くから人と関わってきた毒は、歴史の中の闇としてたびたび登場します。長い間培われてきた「毒の文化」を辿る一冊です。

*日本漢字能力検定協会が主催する、一年の世相を表す漢字を募集・発表する事業。

「^{きとし}聖の青春」

大崎善生著

講談社 2000 [79602/4]

昨年、天才棋士がスポットライトを浴びました。この作品の主人公村山聖も天才棋士でした。1998年は、彼が29歳という若さで他界した年です。

村山は、ネフローゼという重い病と闘いながら、名人になるという夢を懸命に追いかけて、将棋界の最高峰A級に在籍したまま亡くなります。「2七銀」が彼の最後の言葉です。将棋をそらんじながら亡くなったのです。

家族や師匠の愛、友情に支えられながら、将棋と生きた天才棋士の壮絶な命の記録です。将棋を知らなくても楽しめる一冊となっています。

※[]内は資料の請求記号です。

平成30年度 千葉県立東部図書館 文学講座 報告

「漱石と龍之介 房総の旅」

講師 中谷 順子 氏（詩人・評論家）

●6月9日（土）当館3階研修室にて、文学講座を開催し、49名が参加しました。



講師に詩人・評論家で、『千葉日報』に千葉県にゆかりの作家を紹介する「房総の作家」を連載されている中谷順子氏をお招きし、夏目漱石と芥川龍之介という二人の文豪についてご講演いただきました。

漱石が学生時代に房総を旅し、そのことを漢詩と漢文で記した「木屑録（ぼくせつろく）」が親友・正岡子規に激賞されたことや、龍之介が一宮海岸に滞在の折、師と仰ぐ漱石から手紙を贈られたことなど、房総との関わりや人間関係について様々なお話を聴くことができました。

講座に参加された方々からは、「漱石、龍之介と房総の関係が意外に深かったことがよく理解できた。」「二人の人間関係が分かりやすかった。」等の感想が寄せられました。

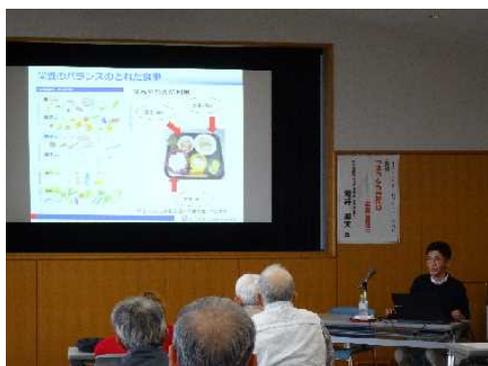
※県立図書館では、夏目漱石・芥川龍之介に関する図書等を多数所蔵しています。

平成30年度 東部図書館 はつらつライフ講座 報告

「はつらつ世代の栄養管理」

講師 坂井 厚夫 氏（旭中央病院 臨床栄養科長 管理栄養士）

●10月13日（土）当館3階研修室にて、はつらつライフ講座を開催しました。この講座は、シニア世代の暮らしに関するさまざまな課題を解決するための情報を提供するものです。今回は、講師に旭中央病院・管理栄養士の坂井厚夫（さかい あつお）氏をお迎えし、21名が参加して、「はつらつ世代の栄養管理」というテーマでお話を伺いました。



講座では糖分・塩分を取り過ぎた場合に起こるリスクや、規則正しい食事方法、塩分摂取の目安などを学びました。

「海匝・香取地区は濃い味付けを好み、糖類や塩分の摂取が多い」というお話もありましたが、皆さん、ご存知でしたか？ アンケートでは、「塩分・糖分・脂肪など改めて意識して気をつけたいと思った。」「できることから始めて、続けることが大事という言葉が、がんばろうという気持ちにさせてくれた。」などの声が寄せられました。

※県立図書館では、県民に必要な課題解決支援として、各種講座を開催しています。

昭和20年の小見川町の人口は？

【質問内容】

昭和20年の香取郡小見川町の人口を知りたい。『小見川町史』などを確認し、前後のデータは見つかったが、昭和20年が見つからない。

【調査結果と提供資料】

『昭和20年人口調査集計結果摘要』（総理府統計局 1977）（p36）によると、昭和20年の小見川町の人口は、総数 8,658 人（男 3,883 人、女 4,775 人）でした。

【調査経過】

- ① まず『国勢調査』や東部図書館が所蔵している統計資料、小見川町や香取郡の歴史資料を確認していきましました。昭和22年などのデータは掲載されていましたが、昭和20年の人口データは確認できませんでした。
- ② 総務省統計局のHP「国勢調査のあゆみ」を見ると、「昭和20年は国勢調査を施行すべき年であるが、現下の緊迫する情勢に鑑み、帝国版図内一斉に国勢調査を施行することは困難である。」として、中止になり、昭和22年に臨時国勢調査が実施されたとありました。
(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kouhou/ayumi.html>)
- ③ 『日本統計年鑑 第67回(2018)』（総務省統計局 2017）（p44）に町村ごとのデータではありませんが、大正9年から平成28年の都道府県別人口が掲載されていました。大正9年から5年おきにデータが載っており、昭和20年の人口も掲載されています。備考欄で出典を確認すると「『国勢調査』及び「人口推計」による。ただし、昭和20年は「人口調査」（11月1日現在）による。」とありました。
- ④ 蔵書検索システムを書名「人口調査」で検索したところ、中央図書館に『昭和20年人口調査集計結果摘要』が所蔵されていました。取り寄せて内容を確認すると、県別に町村ごとの人口データなどが掲載されており、昭和20年の小見川町の人口データを見つけることができました。

【担当者からコメント】

今回の調査では、『日本統計年鑑』（総務省統計局）が役に立ちました。知りたいデータがそのまま掲載されていたわけではありませんが、情報源の出典が案内されており、昭和20年に『人口調査』が行われていたことが確認できました。分野ごとに調査の解説もされており、統計の情報源を知るための資料として、とても有用な資料だと改めて感じた事例でした。

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

おかげさまで、20周年。当館をご利用いただき、ありがとうございます！ 本との出会い、調べものやご相談、様々な講座へのご参加…。読書の楽しみや潤いのある暮らし、皆様の生涯学習のお役に立ちましたでしょうか？ これからも一層のご利用、よろしく願いいたします！！

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの 349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL: <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>